

東御市社会福祉協議会 総合計画 I 【地域福祉部門】 令和8年度 目標・半期の進捗・年度末の進捗・成果と課題・1年間の評価

I 【地域福祉部門】

大項目 実施項目	達成方法	令和8年度目標	半期の進 捗	半期の 評価	年度末の 進捗	1年間の 成果と 課題	年度末 評価 1 2 3 4 5
I-(1)住民主体による福祉活動の組織化・仕組みづくり ①既存団体間（行政区・小学校区等の団体）の情報共有の円滑化★	①-1 CSW（※コミュニティソーシャルワーカー）の役割の明確化と周知	○東御市・長野大学等と連携し、今後の進め方を共有・協議する。 ○地域づくり組織・役員等との情報連携・合同研修等を検討する。 ◇研修会1回以上の開催					
②地域を元気にする諸活動の主体を担える人材育成	②-2 ボランティアセンターのコーディネート機能の強化	○ボランティアニーズの掘り起こし調査を行う。 ○団体・個人ボランティアの活動を細かく把握し、ボランティアのニーズに適切につなげられるようにする。					
③地域内の団体及び活動の実態把握	③-1 地域で活動する団体・個人への地域活動に関する定期的な聞き取り・アンケートの実施と評価分析	○小学校区や行政区内で活動する個人やボランティア団体に向けてのアンケート調査を実施し、分析を行う。					
I-(2) 個別支援と地域づくりの一体的な展開 ①地域住民が把握している個別ニーズの拾い上げ及びその支援における住民との協力体制の構築	①-1 行政区や小学校区を単位とした相談会の開催	○社協内部検討会の立ち上げ及び検討会議の開催。 ○子ども誰でも居場所くるmeや他の事業と協働した開催を検討する。					
②相談者が抱える困りごとの地域へのフィードバック	②-2 当事者・関係する地域住民・福祉関係者の参加によるケース会議の開催	○個別事例の解決にあたり、当事者・住民参加を重視した会議を開催し、取り組み内容の整理と共有化を進める。 ○2～3事例を対象に、モデル的に取り組む。					
I-(3) 高齢者が安心して暮らせる地域づくり ①高齢者の生活環境の把握	①-1 生活支援コーディネーターを中心とした高齢者福祉に関する現状把握	○生活支援コーディネーターの役割を整理し、職員間で共有を図る。 ○シニアクラブ・ボランティア団体等の地域活動とも連携を図る。 ◇各団体への現状聞き取り各1回程度実施					
②日常生活における支え合いの仕組みづくり★	②-1 高齢者日常生活サポート事業の実施とサポーターの養成	○活動サポーターへの聞き取りを小まめに実施し、安心して活動できる事業を目指す。 ◇養成講座参加延べ200人 ◇サポーター登録者65人 ◇訪問延べ実績350件					
③介護予防事業の展開による高齢者が自立した生活を継続できる環境づくり	③-1 利用者ニーズに合わせたミニデイ・筋トレ・認知症対応通所サービスC型の実施	○平均利用者数を昨年度と同程度で維持し、利用者の身体能力の維持に務める。 ○事業の様子を広報等で取り上げ、事業の更なる周知啓発を図る。 ◇利用者数前年度維持 ◇広報等への情報掲載5回					

I-(4)子ども・子育て世帯を中心に据えた支援と地域づくり ①地域の中で、地域の人たちに支えられる居場所づくり★	①-1 居場所に関わる地域住民・ボランティアの増加	○子ども誰でも居場所くる me のボランティアを地域から募り、地域の人達に支えられる居場所づくりにつなげる。 ○周知、啓発方法の検討。地域ボランティア 2~3 名。					
②不登校児童も利用しやすい居場所の整備	②-1 行政担当者を交えたケース検討会や情報共有会議の定期的な実施	○毎月子どもサポートセンターとの定例会に合わせて、利用児童のケース検討を行い、関係機関との情報共有を図る。 年 6 回程度開催					
④誰もが参加できる居場所における交流・相談の一体的な実施	④-1 誰もが参加できる居場所の継続と、交流・相談支援の一体的な実施	○子どもだれでも居場所くる me の周知方法を検討する。 ○I-(2)の①-1 と同様に検討する。					
I-(5)地域福祉計画・地域福祉活動計画 ①地域福祉活動計画の市民や関係団体に向けた周知・啓発	①-1 ダイジェスト版を用いた住民への取り組み説明の機会の設定	○実施する出前講座等において、計画の策定報告や概要説明を併せて実施。 ◇概要説明 10 支部程度。					
②計画の進捗状況を住民と確認しあい、定期的に東御市における地域福祉推進の方向性を確認し合う体制づくり	②-1 計画の進捗について、懇談会等における住民参加による継続的な確	○市が主催する計画の推進会議に参加し、市民目線の取り組みを推進する。 ○地域福祉懇談会にて計画の進捗状況を紹介・説明実施 ◇住民からの意見等 20 件程度を集約し、社協内で共有					
I-(6) 機関・団体等、福祉に特定しない多様な主体との協働 ①福祉の枠組みにとられない多機関等との協働体制づくり	①-1 多様な機関・団体の実態把握、互いの事業への積極的な参画	○多様な事業展開を通じて、企業の関心事項や専門分野を把握し、連携につなげる。 ○聞き取り調査等の検討。					
②社協が企業等の社会貢献意欲の受け皿となれるような仕組みづくり	②-2 寄付等、社会貢献活動を実施している企業の積極的な PR 協力	○社会貢献に取り組む企業の把握を進め、地域への情報発信の方法を検討し、社会貢献への意欲向上につなげる。係内検討会 2 回程度					
I-(7) 東御市共同募金会との連携 ①時代に合わせた募金運動の検討	①-1 戸別募金の収納における地域との協働方法の見直し	○募金に係る、近隣市町村の実状を把握し、改善点を検討する。 ○支部役員及び住民からの意見を集約し、社協内にて検討会議を 2 回程度開催					
②共同募金配分委員会の設置と運営	②-1 配分委員会の設置・運営による公平かつ効果的な配分の実施	○近隣市町村の配分委員会の運営について、把握し検討する。 ○二次配分の実施によって地域活動がどのように変化するか検討を行う					
③透明性のある募金運動が展開できる仕組みづくり	③-1 不正のない安心して参加できる募金システムの検討	○募金運動の安心を担保するため、職場内の牽制体制について検討する。					
I-(8) 災害時の支え合い体制づくり ①災害時の支部・行政との連携体制の強化	①-2 支部の災害時の支え合い体制の構築支援	○地域で作成した、台帳やマップの更新状況を把握し、個別支援計画と連携を図る。 ◇支えあい台帳作成支援支部 10 支部程度					
②災害 VC(※ボランティアセンター) の設置・運営に関する活動の見直し	②-1 災害 VC の設置・運営のマニュアル作成	○県社協や近隣市町村の状況を把握し、検討する ○素案を作成し、社協内で共有し、他計画との整合を確認する					
③BCP(※事業継続計画) と連携した災害時の地域福祉事業展開の検討	③-1 災害時に対応した地域福祉事業ごとのマニュアル作成	○地域福祉事業を精査し、災害時に向けたマニュアル化を進める。 ◇10 事業にてマニュアルを作成					

東御市社会福祉協議会 総合計画 【Ⅲ法人運営部門】 令和8年度 目標・半期の進捗・年度末の進捗・成果と課題・1年間の評価

大項目 実施項目	達成方法	令和8年度目標	半期の進 捗	半期 の 評価	年度末の 進捗	1年間の 成果と課 題	年度末 評価 1 2 3 4 5
Ⅲ-(1) 適切な法人運営をする。 ②理念に基づき、社協職員として自覚を持てるようにする	②-1 理念、基本方針を共通認識にするための機会をもつ	○理念、基本方針の掲示を行う。 ○毎月第一（月）の朝礼時に、理念及び基本方針を唱和する。					
③事務手続きの統一化を図る	③-1 職員がわかりやすいマニュアルを作成する	○職員一人ひとりが、自身が担当する事業・業務のマニュアルを1つ以上作る。					
Ⅲ-(2)人材育成と組織内連携による働きやすい職場環境を整える) ①仕事への意欲と向上心をもてる安心した仕組みづくり★	①-1 スキルアップや職員の意識、仕事への意欲を高めるための各種研修を実施する(ビジネスマナー、スキルアップ、初任者、実習指導者)	・法人として受講が必要な研修について把握し、委員会でも検討するよう整備する。					
②組織内の連携強化に取り組み、スムーズな情報共有を図る	②-1 情報共有の重要性の理解を促進し、有意義な情報を活用できることで職場の能力向上につなげる(デスクネットの活用)	・デスクネットの活用方法についてまとめ、使用ルールの統一を図る。					
Ⅲ-(3)経営状況の把握と地域福祉活動を行うための財源の確保を検討する①経営状況を把握し、事業の見直しを行う★	①-2 経営状況を見ながら、事業の見直しを行う	・経営状況を踏まえた事業展開を検討する。 ・東御市の委託費や補助金について、計画的に協議を行う。					
Ⅲ-(4) 広報、情報発信を強化し、社協事業の理解に努める。 ①住民へ理解しやすいような、事業の見える化をする。★	②-1 世代別の情報ツールの検討をする	・市民や事業所の皆さんにわかりやすいホームページに改訂をおこなう。 ・広報委員会と協力し、方針や内容を含めて、市民に届く情報発信のあり方について検討する。					
Ⅲ-(5) 災害等の緊急事態における事業継続計画を整備する ①緊急時に対する意識の向上、対応について対策する★	①-1 災害対応マニュアルの整備	・緊急連絡訓練を実施し、評価する。 また、事業継続計画・災害対応マニュアルへ反映させる。					